



笑顔あふれる
藻岩北の子

藻岩北だより

《臨時号》

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果及び考察

令和7年9月16日

札幌市立藻岩北小学校

6年生を対象に、4月に実施された全国学力・学習状況調査（国語・算数・理科の3教科）の結果概要をお知らせいたします。

1 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

「今回の調査における課題」や「改善の方向」は、設問を細かく見た際に、浮かび上がってきた課題について考察し、学校全体の課題として捉えていくものです。

【国語】

本校の概要

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「情報の使い方に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「話すこと・聞くこと」

△全国平均を上回っている。

「書くこと」

△全国平均を上回っている。

「読むこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

★学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

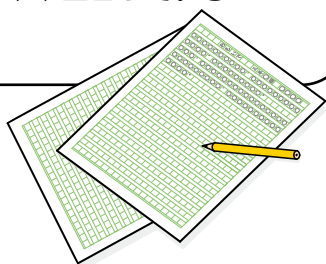
★事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

改善の方向

◎同音や同訓の漢字に注意し、言葉の意味を考えて文の中で正しく使う学習活動の充実。

◎友達同士で書いた文章を見せ合い、詳しくする方法を話し合う活動などを継続していく。

◎書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているかを書き出し、書き手の考えを自分の言葉で短くまとめるなどして、内容の中心となる事柄などを捉える学習活動の充実。



【算数】

本校の概要

「数と計算」
◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「図形」
△全国平均を上回っている。

「測定」
△全国平均を上回っている。

「変化と関係」
△全国平均を上回っている。

「データの活用」
△全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

★分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位のいくつ分かを数や言葉を用いて記述すること。

★数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えること。

★目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。

改善の方向

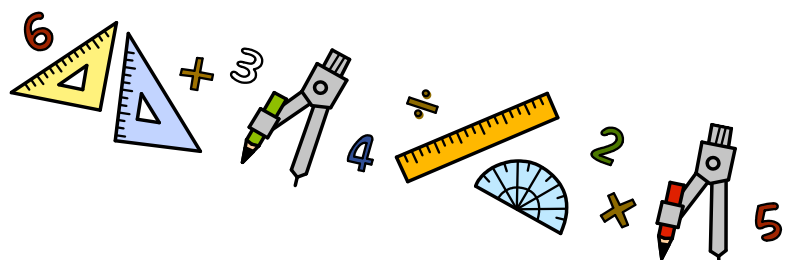
◎分数の加法及び減法の計算の仕方を、分数の意味や大きさに着目して考える活動の充実。

◎0から1までが何等分されているのかに着目して、単位分数を捉えることができるようにする学習活動の充実。

◎面積の求め方について式や言葉を用いて表し、説明する活動を充実させ、更に高めていく。

◎複数の情報から場面に基づいて必要な数量を見だし、それらの数量の関係を捉えるとともに、その関係を式や言葉の式に表現する活動を充実させ、更に高めていく。

◎日常の事象について、目的に応じて必要なデータを収集し、データの特徴や傾向を捉え考察する活動の充実。



【理科】

本校の概要

「エネルギー」を柱とする領域
◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「粒子」を柱とする領域
◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「生命」を柱とする領域
△全国平均を上回っている。

「地球」を柱とする領域
△全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

★身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いていること。

★水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。

★レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。

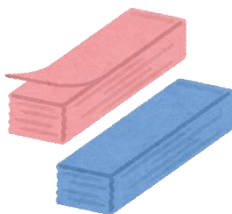
改善の方向

◎物質の性質に関する理解を深めるために、学習した知識を既習の内容やほかの学習や生活と関係付け、習得した知識を整理する学習活動の充実。

◎結論を見いだす過程において、結果そのものと、そこから言えること(考察)を区別して、より妥当な考えをつくりだすことができるよう、子どもの表現を整理する教師による関わりの充実。

◎問題を見いだす力を育むために、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、一人一人が見いだした問題をノートに書くなどの、思考し表現する活動の充実。

◎結果を基に考察する際に、表やグラフなどに整理する活動を充実させ、結果を比較したり多面的に考えたりして、自分の考えを更に表現できるようにしていく。



2 児童質問紙による学習状況調査の結果から

【生活習慣に関わって】

「朝食を毎日食べている。」

「毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」

「毎日、同じくらいの時刻に起きている。」

と回答している児童の割合が、昨年度に引き続き全国平均より高い。



→基本的な生活リズムが整っている児童が多いことがうかがえます。ありがとうございます。

学習活動に集中して取り組み、よりよい学校生活を送ることにつながります。引き続き、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

【「子どもの声を聴く」教育に関わって】

「自分には、よいところがあると思う。」

「将来の夢や目標を持っている。」

「人が困っているときは、進んで助けている。」

「人の役に立つ人間になりたい。」

「地域や社会をよくするために何かしてみたい。」

と回答している児童の割合が、全国平均より高い。



→自己肯定感が高く、前向きな気持ちで学校生活を送っていたり、人のため・社会のためになる生き方をしたいと考えていたりする児童が多いことがうかがえます。

また、

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」

「学校に行くのは楽しいと思う。」

「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。」

と回答している児童の割合も、全国平均より高い。

→子どもたちが安心して学校生活を送ることができていると言えます。引き続き、「子ども一人一人が『自分が大切にされている』と実感できる学校づくりの推進」を目指してまいります。

【ICT の活用に関わって】

「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用した。」

と回答している児童の割合が全国平均より低かった。一方で、

「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか。」

などの質問では、肯定的な回答をしている児童の割合は、全国平均並みかやや高かった。

→本校のICT活用の取組はまだ途上の段階ではあるものの、一定の成果が出てきていると言えます。引き続き、ICT機器を効果的に活用した学習活動の充実を図っていきます。

【課題探究的な学習に関わって】

「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。」

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ。」

「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。」

と回答している児童の割合が、全国平均より高い。

→札幌市では「課題探究的な学習」を大切にしていますが、本校の児童の学びがそのようなものになっていることの表れであると言えます。引き続き、こうした学習活動を行っていただけるような授業研究の推進をしていきます。



【専科指導に関わって】

「理科の勉強は得意だ。(好きだ。授業の内容がよく分かる。)」

「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり問題を見いだしたりしている。」

「理科の授業では、観察や実験をよく行っている。」

「理科の授業では、問題に対して答えがどのようなになるのか、自分で予想(仮説)を考えている。」

「観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている。」

と回答している児童の割合が、全国平均より高い。

→本校では、3年生以上の学年で専科指導を行っています。今回は理科に関わる質問でしたが、専門性を生かした授業による成果が表れたと言えます。引き続き専科指導の体制を整え、効果的な学習指導を行っていきたいと考えています。